

令和4年度  
バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰

受賞事例集

# 令和4年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施いたしました。

この表彰は、全ての国民が障害の有無や年齢の違いなどにかかわらず安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。

関係省庁、都道府県・政令指定都市を通じて推薦のあった13件の事例のうち、今年度は、内閣総理大臣表彰1件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞2件、同奨励賞2件が選考され、表彰式において、岸田内閣総理大臣及び小倉内閣府特命担当大臣から受賞団体代表者に対し、表彰状が授与されました。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集を活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「国民一人一人が自立しつつ互いに支え合う共生社会の実現」を目指した心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。

令和5年3月  
内閣府



令和4年度（2022年度）バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式  
開催日：令和4年（2022年）12月26日（月）  
開催場所：内閣総理大臣官邸大ホール

講

評



令和4年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

令和4年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰には全国から「施設整備」4件、「製品開発」2件、「活動等」7件、計13件の応募がありました。いずれも優れたものばかりで、ご推薦いただいた関係省庁、都道府県・政令指定都市の皆さまに深くお礼申し上げます。第1回選考委員会では各推薦者から提出された推薦書類により各選考委員が書面上で予備審査を行いました。その結果を基に選考委員会で慎重に協議し、現地調査候補を選考しました。現地調査では、感染拡大防止にも十分配慮しながら、各推薦者から提出された推薦書類の事実確認、施設や製品、活動の現状確認、追加ヒアリング等を行いました。第2回選考委員会では、各委員からの現地調査報告を基に厳正な審議がなされ、下記5件が今年度の受賞者として選出されました。

内閣総理大臣表彰を受賞された毎日新聞社点字毎日は、これまで100年にわたり一度も休刊することなく視覚障害者への情報提供を進めてきた世界で唯一の点字新聞です。今日のように情報提供の多様化、デジタル化が進展する時代にあっても、長期にわたり視覚障害者の日常生活に密着し、点字が生み出す情報の力、視覚障害者の歴史を刻んできたものは他にはありません。これらの活動が極めて高く評価されました。

内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞された株式会社アイエスゲートは、聴覚障害者等ががん検診を受ける際に困難となる胃部X線検査に文字や動画等を取り入れた画期的なe検査ナビシステムを製品化しました。聴覚障害者向けに開発されたナビ技術は、検査技師にとっても次の操作が伝えやすく、各地の病院や地方公共団体と共に「がん検診の受診機会創出」に取り組まれています。これらの功績が高く評価されました。

同じく優良賞を受賞されたNPO法人わくわーくは、多様な障害者、多世代が集う特徴あるコミュニティ活動を長年にわたって展開しています。特に近年では竹害防止のために伐採された竹材を使用した竹チェロの製造、古ピアノの再生などにも取り組み、障害者の雇用機会創出、継続就労、地域の商店街の活性化にも多くの成果を上げています。これらの活動が高く評価されました。

また、内閣府特命担当大臣表彰奨励賞を受賞された全国脊髄損傷者連合会山形県支部は、車いす駐車場における不正駐車を防止するために、2004年に全国で初めて車いす駐車施設の青色全面塗装を考案しました。この取組はその後山形県内を始め全国各地に瞬く間に波及し、車いす駐車場の不正利用防止に大きな成果を上げています。これらの活動が高く評価されました。

同じく奨励賞を受賞された社会福祉法人悠林舎障害者支援施設シーズは、2001年の施設開所当初からアート活動に力を入れ、特に東京2020大会へのイベント参加を目指してユニークなプラット・アート・プロジェクトを推進、県内外のアート展にも積極的に企画、参加してきました。近年では海外とのオンラインワークショップも企画し、支援施設の活動枠にとどまらない様々なアートによる学生、市民、障害者との交流機会を創出しています。これらの活動を高く評価しました。

近年、地域生活・就労の支援強化や、障害の有無等にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「心のバリアフリー」などの施策が進められていますが、この度受賞された諸団体における活動は、この理念を確実に実践してこられたものです。誰もが生きがいを感じ、多様性が尊重される共生社会の実現を目指したバリアフリー・ユニバーサルデザインの取組が重要性を増しています。全国各地でさらなる多様なバリアフリー、ユニバーサルデザインの活動が始まり、活発に展開されていくことを強く期待しています。最後になりますが、ご推薦いただきました都道府県・政令指定都市を始め全国の関係諸機関に改めて深く感謝申し上げます。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰選考委員会  
委員長 高橋 儀平

# 目次

## 内閣総理大臣表彰（1件）

毎日新聞社点字毎日	1
-----------	---

## 内閣府特命担当大臣優良賞（2件）

①株式会社アイエスゲート	3
②NPO法人わくわーく	5

## 内閣府特命担当大臣奨励賞（2件）

①全国脊髄損傷者連合会山形県支部	7
②社会福祉法人悠林舎障害者支援施設シーズ	9

これまでの受賞者一覧	11
バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領	22
選考委員会委員名簿	23

## 内閣総理大臣 表彰

厚生労働省推薦

# 毎日新聞社点字毎日

(大阪府大阪市)

### 【概要】

- 毎日新聞社点字毎日は、視覚障害者向けの週刊の点字新聞である。記事の内容は毎日新聞の単純な点訳にとどまらず、視覚障害者の生活に身近な話題から福祉制度、就労、教育等の問題を扱うほか、文化・娯楽の情報、視覚障害当事者や支援者による読み物も掲載している。



点字毎日の最新号  
(2022年12月27日号)

### 【功績・功労】

- 点字の普及と社会的位置づけの向上、視覚障害者の生活の質の改善と社会参加の促進に力を注ぎ、その教育・文化・福祉の向上や、生活・職業の改善に大きく貢献している。
- 本年創刊100周年を迎えた。創刊以来、戦時中も含め休刊することなく、視覚障害者へ情報提供を続けてきた(約1世紀の長期にわたって点字新聞を発行し続けている新聞社は、毎日新聞社が国内唯一で、世界的にも例がない)。
- 近年は、デジタル録音や活字版等多媒体化を実現したほか、社会啓発の観点から一般紙・毎日新聞や小学生新聞との連携の取組も増加している。



点字毎日の作成現場

- これまでに発行された紙面は大阪本社内に点字版として保存されているが、現在そのデジタルデータ化も行うなど、100年間にわたる視覚障害者を取り巻く社会環境の変遷の記録の蓄積を進めている。



点字輪転機



点字毎日(創刊号)

- メディア全般のデジタル化や若い世代の視覚障害者の減少により、点字毎日の将来については社内外で懸念がある。しかし、そのような情勢においても、今後も新聞発行を継続し、さらに母体の毎日新聞社が2030年に向けて掲げているビジョン構想(『個を見つめ、世の中に伝え、社会をつなぐコミュニケーター・カンパニーへ』)の実践ヘリードしていこうという姿勢を示すなど、精力的に取組を進めている。



さまざまなメディアの点字毎日

内閣府  
特命担当大臣表彰  
優良賞  
総務省・東京都推薦

# 株式会社アイエスゲート

(東京都墨田区)

## 【概要】

➤ 株式会社アイエスゲートは、高齢者や聴覚障害のある方等の中に、がん検診で胃部X線検査を受けるときの指示を聞くことができないため、受診を断られたり、受診を諦めたりしていた方がいたことから、2017年に検査者の別室からの指示を従来の音声だけでなく、イラストやアニメーションでもモニターに表示して伝える「胃部X線検査支援システム (e-検査ナビ®)」を開発・製品化した。



e-検査ナビ パンフレット表紙

このシステムにより、検査中に口頭で体位変換の細かい指示を行うことが難しいという問題を解決することが可能となった。



e-検査ナビの概要図



## 【 功績・功労 】

➤ 検査者が、胃部X線検査で受診者に直接リアルタイムで身体の細かな動きをパネルタッチを使って指示でき、検査室のモニターでわかりやすく伝達できるため、受診者も直感的に理解でき、安心してがん検診を受けられるようになった。また、検査者が体位変換時の「もう少し右」などの微調整の指示を円滑に行えるため、良い画像が得られるようになった。



検査者側

受診者側

➤ 高齢者や聴覚障害者等のがん検診を容易にするために情報通信技術を活用したシステム開発は独創性と波及効果がある。また、e-検査ナビの導入医療機関や地方公共団体と連携して「がん検診の受診機会創出」に取り組んでおり、受診率の向上、早期発見によるがん治療に貢献している。



内閣府  
特命担当大臣表彰  
優良賞

北九州市推薦

# NPO法人わくわーく

(福岡県北九州市)

## 【概要】

- NPO法人わくわーくは、2010年に設立され、主に精神・発達障害のある方が作業等を行う障害福祉サービス事業所、多世代交流の地域コミュニティ活動、市内の複数の作業所で作ったお菓子を販売・配達する障害者就労支援をはじめとした地域の多様な人や団体との協働を事業の柱としている。



拠点施設「ココクル平野」

- 企業、学校、行政等との連携をはかりながら、新たな事業として、2020年より、竹害防止のために伐採した竹を素材とする竹チェロの製造、ピアノの再生、古紙再生などのアップサイクル活動に取り組んでいる。



竹チェロの製造



ピアノの再生

## 【 功績・功労 】

- SDGsの推進などといった時勢を的確に捉え、企業、学校、行政等の多様な主体とのネットワークにより、事業所利用者の雇用機会拡大や収入増加に資する活動に取り組み、「まちで暮らす誰もがお互いを認め合い、こころ穏やかに安心して暮らせる社会の創造」を団体のビジョンとし、自立した事業として継続・発展している。



KAMIKURUプロジェクト  
(古紙再生)



物販の様子



- 地域社会との新たな出会いを通じて、事業所利用者が新たなスキルと自信を身につける機会を提供している。竹チェロ製造の専門講師になったという素晴らしい成果も出ており、精神・発達障害等に対する一般の人々の理解を促進することにもつながっている。また、商店街等でのイベントにも積極的に参加するなど活動の場を広く展開し、地域経済の活性化に寄与している。



多世代交流スペース「くるくる」



地域コミュニティ活動

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

厚生労働省推薦

# 全国脊髄損傷者連合会山形県支部

(山形県山形市)

## 【概要】

- 全国脊髄損傷者連合会山形県支部は、2004年に車椅子使用者用駐車施設(※)の相次ぐ不正利用の防止策として、メンバーの発案により、全国で初めて駐車施設への全面青色塗装を行った。以降、当事者を中心に、全面青色塗装の取組を継続している。

(※)バリアフリー法により設置が義務付けられた幅の広い(3.5m以上)区画



青色塗装された駐車場



塗装作業の様子

## 【 功績・功労 】

- 山形県や市町村のほか、スーパーマーケット・ホームセンター等の協力を得て、全面青色塗装の取組は県内で波及している。



車椅子ユーザー自身やボランティアの小学生も作業に参加している

- 小中高生や一般ボランティアの協力で全面青色塗装活動を実施することで、県内の車椅子ユーザーにとってのバリアフリー環境への意識啓発に役立っている。
- 県内のスーパーマーケットでは、全面青色塗装の部分だけでなく、通称「ダブルスペース」と呼ばれる高齢者やベビーカーユーザーのスペースに配慮する取組にも広がっており、高齢化が急ピッチで進んでいる全国の実情に対応した取組となっている。
- 他県の連合会支部からの依頼に応じて車椅子マークの型枠を送付するなどの普及啓発活動を重ねているほか、国の啓発ポスターにも全面青色塗装が取り入れられるなど、本取組は北海道から沖縄県まで着実に全国へと波及している。



車椅子マークの型枠

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

徳島県推薦

# 社会福祉法人悠林舎 障害者支援施設シーズ

(徳島県阿南市)

## 【概要】

- 社会福祉法人悠林舎障害者支援施設シーズは、2001年の開所時よりアート活動を開始。2016年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、スポーツでは参加できない知的障害者も、その個性を文化面において活かすことで、生きがいつくり、自立の第一歩につながるのではないかと考え、年に1度のペースでアート展を開催。『プラット・アート・プロジェクト』という名称で活動している。



アート活動の様子

## 【功績・功労】

- 施設を利用する知的障害者が集団で創作したアート作品による徳島県立近代美術館での展覧会など、施設外での出展を始め、やがて県内各所で学生ほか県民とアートを通じた交流をするワークショップ開催に発展、これら活動がメディアに露出することにより支援の輪、他のイベントへの呼びかけが増加した。
- 施設外との交流を通じて、アーティスト森太三氏が施設の取組に参画、様々なアート創作方法を企画するなどの協力により、知的障害者ならではの感性が表現される創作活動が加速した。

- 2020年、障害の有無に関わらず、県外、海外からも参加できるオンラインアート展示会を開催し、車いす目線のコンテンツを配信した。

ウェブ展覧会



オンラインアート展示会

- ラグビーワールドカップをきっかけに、徳島県がジョージア国の共生社会ホストタウンになったことを契機に、同国とのオンラインワークショップを開催し、トビリシ自由大学の学生と徳島県内の学生が交流できる機会を提供した。2025年大阪・関西万博に向けて、徳島県が実施する「とくしま魅力発信チャレンジ事業」にも参加し、更に国際交流を促進する。



オンラインワークショップの様子

- 障害者福祉、知的障害者の生きがいがいづくりにとどまらず、外部との連携、徳島県の国際交流にも貢献するなど、活発な活動を展開している。



# バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

## ～これまでの受賞者一覧～

	第1回受賞 平成14年度 (2002年度)	第2回受賞 平成15年度 (2003年度)	第3回受賞 平成16年度 (2004年度)
内閣総理大臣表彰	新井リゾート開発株式会社	京成ホテル株式会社	湖南省
	下田タウン株式会社		南砺市
内閣官房長官表彰 (第3回までは、内閣官房長官表彰となる。)	Accessible盛岡	伊勢佐木町1・2丁目地区商店街振興組合	荒 由利子
	伊丹市	岐阜経済大学まちなか共同研究室マイスター倶楽部	伊予鉄道株式会社
	財団法人共用品推進機構	訓子府町	株式会社 イトーヨーカ堂
	株式会社京急 ファインテック	医療法人圭佑会 澤歯科医院	株式会社 オリエンタルランド
	財団法人 すこやか食生活協会	伊勢原・誰もが住みよい街づくり懇話会	高齢者住宅環境整備ボランティア会
	特定非営利活動法人 デイヘルプ	特定非営利活動法人 日本サスティナブル・コミュニティ・センター	仙台シニアネットクラブ
	特定非営利活動法人 福祉のまちづくり 市民ネットワーク	肥後タクシー有限会社	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構、 九州旅客鉄道株式会社
	バリアフリーデザイン研究所	広島電鉄株式会社	
	むくどりホーム・ふれあいの会	福岡県田川郡 大任町立大任小学校	トヨタ自動車株式会社
		村山 輝子	
	有限会社料亭こもだ		

※1 「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」は、第6回までの間、「バリアフリー化推進功労者表彰」として実施

※2 「受賞者」の名称は当時のままの名称で記載している

※3 NPOとは、特定非営利活動法人(NPO法人)の略。



	第4回受賞 平成17年度 (2005年度)	第5回受賞 平成18年度 (2006年度)
内閣総理 大臣表彰	東陶機器株式会社	コクヨ株式会社
	特定非営利活動法人 大阪障害者雇用支援ネットワー ク	
内閣府 特命担当 大臣表彰	大牟田住まい・まちづくり ネットワーク	ケア付き青森ねぶた 「じょっぱり隊」
	奥野 花代子	京王電鉄株式会社
	東京急行電鉄株式会社	公立豊岡病院組合
	福岡市交通局	特定非営利活動法人 シーエス障害者放送統一機構
	有限会社雅樹雅	とっておきの音楽祭 実行委員会SENDAI
	有限会社ハートフル・ウィング	富山ライトレール株式会社
		平田観光株式会社
		THE MAGICAL TOY BOX

	第6回受賞 平成19年度 (2007年度)	第7回受賞 平成20年度 (2008年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	品川区立戸越台中学校
	中部国際空港株式会社	富士ゼロックス株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	岡山県立興陽高等学校	イオン九州株式会社 イオン鹿児島ショッピングセン ター
	花王株式会社	泉北若松台A B住宅 団地管理組合
	京都リップル	全国障害学生支援センター
	特定非営利活動法人 全国視覚障害者情報提供施設協会	豊中市
	凸版印刷株式会社	横浜市交通局
	はあとねっと輪っふる	
	兵庫県立福祉のまちづくり工学研 究所	
	ユニバーサルデザインリフォーム プラザ静岡	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	大洗サーフ・ライフセービングク ラブ	池野通建株式会社
	大阪市交通局	五木村立五木中学校・ 熊本県立人吉高等学校五木分校
	大日本印刷株式会社	株式会社袖ヶ浦自動車教習所
	トーワ株式会社	特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセ ンター
	特定非営利活動法人 子育て支援のNPOまめっこ	特定非営利活動法人 市民生活支援センターふくしの 家
		特定非営利活動法人 はままつ子育てネットワーク ぴっぴ
		特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい
		ピュア・フィールド風曜日
		北極しろくま堂有限会社

	第8回受賞 平成21年度 (2009年度)	第9回受賞 平成22年度 (2010年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社東京信友	特定非営利活動法人 Color Universal Design Organization
		日本理化学工業株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	株式会社サン工芸
	カシオペア連邦はーとふる発見隊	株式会社特殊衣料
	株式会社タカラトミー	株式会社日立製作所 ユニバーサルデザイン 出前授業プロジェクトチーム
	財団法人 安全交通試験研究センター	東京電力株式会社
	財団法人 明治安田こころの健康財団	特定非営利活動法人 ウィズアス
		有限会社アイ・シー・アイ デザイン研究所
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	尼崎交通局	あい・あーる・けあ株式会社
	特定非営利活動法人 子育てネットすくすく	刈谷市総合文化センター アイリス
	特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと	
	特定非営利活動法人 ユニバーサルデザイン・結	

	第10回受賞 平成23年度 (2011年度)	第11回受賞 平成24年度 (2012年度)
内閣総理 大臣表彰	ケージーエス株式会社	シナノケンシ株式会社
		社会福祉法人 全国手話研修センター
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	オムロン ソーシャル ソリューションズ株式会社	特定非営利活動法人 UDくまもと
	株式会社富士レークホテル	埼玉県警察本部交通部交通規制課
	株式会社 湯郷プラザホテル 季譜の里	社会福祉法人 太陽の家 サンストア
	株式会社らむれす・三角山放送局	日進市立図書館
	特定非営利活動法人 まちづくり推進機構岡山	南医療生活協同組合
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	国際ユニバーサルデザイン協議会	早稲田大学ボランティアサークル 積み木の会

	第12回受賞 平成25年度 (2013年度)	第13回受賞 平成26年度 (2014年度)
内閣総理大臣表彰	日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan)	和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会・和歌山県立博物館
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	株式会社アメディア	藤野 稔寛
	特定非営利活動法人ケーネット知楽市	株式会社電制
		日本ブラインドサッカー協会
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	いしかわ総合スポーツセンター	大町立大町南小学校
	有限責任事業組合ASI 栃木	てまるプロジェクト
	有限会社川藤	
	京都府立京都八幡高等学校・京都府立八幡支援学校	
	シティホールプラザアオーレ長岡	

	第14回受賞 平成27年度 (2015年度)	第15回受賞 平成28年度 (2016年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社オーエックス エンジニアリング	株式会社ジェイ・ティ・アール
		株式会社静岡新聞社・ 静岡放送株式会社 メディア・ユニバーサルデザイン プロジェクトチーム
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂	有限会社さいとう工房
	川端鉄工所株式会社	なにわー水
	株式会社主人公	
	地域共生型 福祉施設整備協議会	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)		ヤマハ株式会社新規事業開発部 Sound U D グループ
		座間キャラバン隊

	第16回受賞 平成29年度 (2017年度)	第17回受賞 平成30年度 (2018年度)
内閣総理 大臣表彰	仙台市交通局	有限会社 エクストラ
	全日本空輸株式会社・ ANAウイングス株式会社	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	石狩市	社会福祉法人 愛知たいようの社
	株式会社エスコアール	明石市
	道の駅 常陸大宮	合同会社 Chupki
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	オプトニカ工房有限公司	藤巻 進
	篠原電機株式会社	富士見高原リゾート 株式会社
	戸田市立笹目小学校	
	株式会社スワン	

	第18回受賞 令和元年度 (2019年度)	第19回受賞 令和2年度 (2020年度)
内閣総理 大臣表彰	一般社団法人日本玩具協会	株式会社 アステム
		東急電鉄株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	WHILL株式会社	岡山放送株式会社 「手話が語る福祉」制作チーム
	中橋真紀人	セイコーウオッチ株式会社
	特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議	Palabra株式会社
	富士市	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	株式会社システムギアビジョン	奥山梨衣
	特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク	神奈川トヨタ自動車株式会社
	株式会社ファンケル	大日本印刷株式会社
	特定非営利活動法人 横濱ジェントルタウン倶楽部	特定非営利活動法人 福祉住環境ネットワークこうち



	第20回受賞 令和3年度 (2021年度)	第21回受賞 令和4年度 (2022年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社高知システム開発	毎日新聞社点字毎日
	社会福祉法人佛子園 輪島KABULET®拠点施設	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	オムロン ヘルスケア株式会社	株式会社アイエスゲート
	特定非営利活動法人Creer	NPO法人わくわーく
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	東京大学バリアフリー支援室	全国脊髄損傷者連合会 山形県支部
	認定特定非営利活動法人 トラッソス	社会福祉法人悠林舎 障害者支援施設シーズ
	特定非営利活動法人 日本バリアフリー協会	

**第21回までの  
受賞件数**

**内閣総理  
大臣表彰**

内閣総理大臣表彰 32件

**内閣府  
特命担当  
大臣表彰  
(優良賞)**

内閣官房長官表彰  
(1回～3回) 28件

内閣府特命担当大臣表彰  
(4回・5回) 14件

内閣府特命担当大臣表彰  
優良賞  
(6回～21回) 62件

**内閣府  
特命担当  
大臣表彰  
(奨励賞)**

内閣府特命担当大臣表彰  
奨励賞  
(6回～21回) 50件

総計  
186件

# バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領

平成13年11月6日  
バリアフリーに関する関係閣僚会議決定  
平成29年4月3日  
一部改正

## 1 目的

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的とする。

## 2 表彰の対象

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、極めて顕著な、又は特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体

## 3 表彰者

極めて顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣総理大臣、特に顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣官房長官（ただし、高齢社会対策又は障害者施策を担当する内閣府特命担当大臣が置かれている場合には当該大臣。以下「担当大臣」という。）

## 4 表彰の方法

表彰状及び記念品

## 5 表彰の時期

表彰は、年一回行う。

## 6 表彰の手続

都道府県等から推薦された者のうちから、別に定める選考委員会の意見を聴いて、内閣総理大臣又は担当大臣が被表彰者を決定する。

## 7 表彰の事務

表彰に関する事務は、関係各省庁の協力を得て、内閣府において行う。

## 8 その他

この要領に定めるもののほか、表彰の実施に関し必要な事項は、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）が定める。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰  
選考委員会 委員名簿

委員長

高橋 儀平 東洋大学名誉教授

委員

飯野奈津子 ジャーナリスト

山梨大学客員教授

小澤 温 筑波大学人間系教授

大日方邦子 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長

ジュリア・カム 京都工芸繊維大学特任教授

熊谷晋一郎 東京大学先端科学技術研究センター准教授

東京大学バリアフリー支援室長

長岡 英司 社会福祉法人日本点字図書館理事長

久松 三二 一般財団法人全日本ろうあ連盟事務局長

藤本 浩志 早稲田大学人間科学学術院教授

(敬称略、50音順)

内閣府政策統括官(政策調整担当)付  
参事官(総合調整担当)

〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1

中央合同庁舎第8号館8階

電話 : 03-6257-1445

FAX : 03-3581-0699

<https://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/bf-index.html>